

災害/復興公営住宅の空き部屋等における垂直型農的空間を活用したコミュニティ再生モデル

■ 住む
□ 動く

□ 癒す
□ 楽しむ

□ 学ぶ
□ その他

① 提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- 災害/復興公営住宅の空き部屋対策: 空き部屋等への垂直緑化・農業栽培システム(垂直型の農的空間)の導入による利活用。
- 災害/復興公営住宅の入居者の生活やコミュニティ上の課題: 垂直緑化・農業栽培システム(垂直型の農的空間)を活用して、入居者等が抱える課題(高齢化・孤独化・健康問題・新旧住民の交流等)の解決を図る。

② 提案の概要【テーマ①住む(住宅)】

- ハイドロカルチャーは、土を使わない、「軽く」「汚れにくく」「室内・垂直面でも栽培可能」な、暮らしの中に取り入れやすい水耕栽培システム。
- 都市生活の中でのグリーンインフラとして活用できるだけでなく、地域社会を形成する様々なステークホルダーの「つながり」を強化し、より豊かなコミュニティの再生・成長を図ることも目的とする。
- 室内(地域)で挿し木・種植えから栽培を一貫して行える地域完結農業モデルも目指している。また、収穫された農産物(花・野菜・ハーブ)は、販売したり、地域交流として活用できるだけでなく、福島復興のシンボルとしての活用・発信も可能。
- これらの栽培・収穫等を復興公営住宅の入居者等と共に行うことで、入居者の健康増進、交流の場の提供等となり、入居者の生活・健康やコミュニティ上の課題解決を目指す。



屋内緑化、花・野菜・ハーブの壁面型生産緑化、小型植物工場、雨水循環系壁面型生産緑化等が可能

③ 事業実施に対し必要な要件

- 実証団地の選定と、入居者コミュニティや公営住宅管理・支援団体等の紹介・連携
- 災害/復興住宅の目的外利用許可と、実証期間内の賃料・光熱費等の免除(減額)等

④ 想定スケジュール

- 令和7年度: 1個所における実証事業の実施(施設設置・栽培等)
- 令和8年度: 複数の実証モデル事業の実施(多世代交流モデル/高齢者福祉施設等との連携モデル等)と、事業実現性の検証(課題解決効果、課題、事業採算性等)

⑤ 地元企業等とのマッチング希望



あり



なし

会社名 : ランドブレイン株式会社